

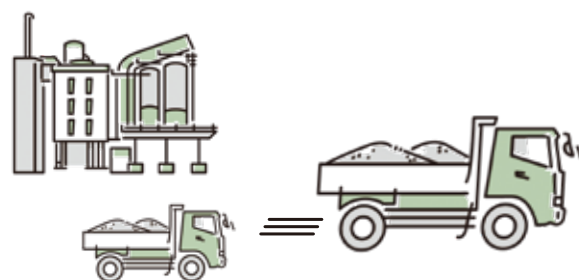
まだある！ ecole の効果

（製造温度を低減せず、通常温度で製造した場合）

より遠くの現場へ運搬可能

アスファルトの温度が低下しても施工のしやすさが保たれるので、アスファルト製造工場から距離がある現場へも輸送が可能となります。

通常 → 2時間（アスファルト混合所便覧）
ecole → **4時間でも可能**



寒い日でも工事品質を担保

冬場や寒冷地の工事などでも、品質不良発生リスクを低減できます。さらに、施工範囲の拡大に期待できます。



【エコール】

ecole

独自のマイクロフォームド技術を活用した環境にやさしいアスファルト混合物

お客様はもちろん
 地球にもやさしい
 環境対策において
 一歩先行く商品です



前田道路株式会社

本店 〒141-8665 東京都品川区大崎 1-11-3 TEL:03-5487-0011
 HP: <https://ssl.maedaroad.co.jp/>

お問い合わせ / 支店・営業所はこちら



【エコール】 ecole

とは
マイクロフォームド技術によって、通常よりも低い温度で製造できるアスファルト混合物です。

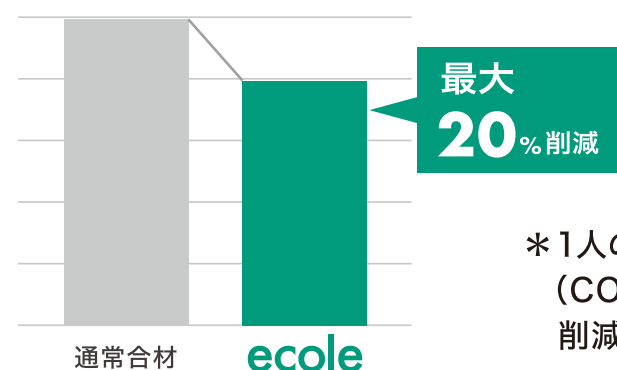
ecoleの由来：エコロジー（環境）とバブル（発泡技術）からネーミング

ecoleの特長

マイクロフォームド技術※によって、製造温度を低減し、CO₂排出量を削減するだけでなく、施工時の品質を担保する締固め度も向上します。

最大20%のCO₂排出量を削減

製造時の燃料消費量（CO₂排出量）



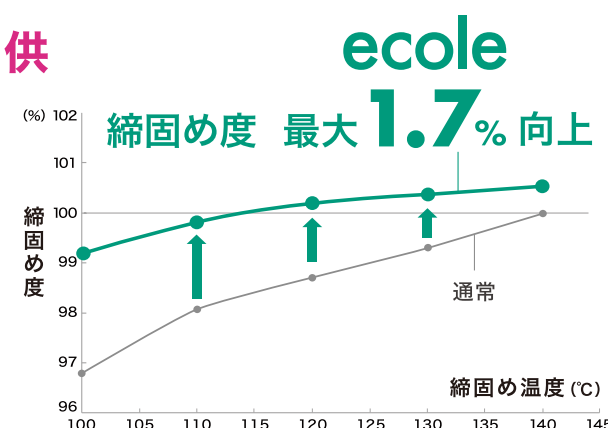
▶ 一般的な舗装工事
(As舗装5cm・1000m²)では、
製造温度**30℃**低減で

約**500kg-CO₂**削減

*1人の人間が1日の呼吸で排出する二酸化炭素（CO₂）は約1kgなので、500人分/日のCO₂を削減することになります。

参考：国立環境研究所 地球環境研究センター
「ココが知りたい地球温暖化」

より強く耐久性のある舗装を提供



※マイクロフォームド技術

アスファルト混合物を製造する際に発泡補助剤を添加することで、アスファルトに微細で持続性の高い泡を大量発生させる技術

ecoleの効果

早期の交通開放が可能

施工時の材料温度が低いため、交通開放までの時間短縮で渋滞の解消など、利用者様の不便さや不快感低減に繋がります。



作業環境の改善

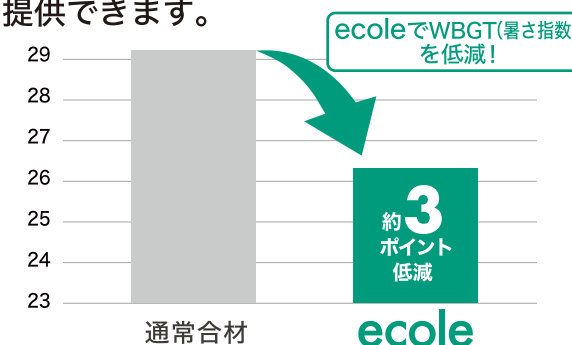
●臭いの抑制

温度を下げることで、臭気も抑えることができ、作業者だけでなく作業中の近隣住民への細かな配慮が可能です。



●熱中症対策

アスファルトの温度が低くなることで、熱中症対策にもなります。作業者へよりよい環境を提供できます。



環境行動をPR

当社の工場は、CO₂フリー電力を導入している低炭素工場であり、ecoleを含む全てのアスファルト合材は低炭素合材として製造しています。

低炭素合材ご利用実績に応じてCO₂排出削減量を見える化した「アクションレポート」を発行させていただきます。持続可能な社会の実現に向けたお客様の取組としてご活用下さい。

※当社発行のアクションレポート

